

夏の学校

7/31(水)

午後2時

午後3時30分

水素エネルギー を学ぼう！

横浜国立大学から先生をお招きします！

夏休み
環境学習



水素って
何なの？



どうやって
使うの？

水素は未来のエネルギー。

専門家の先生がエネルギーの基本から
水素エネルギーの仕組みまでを
実験をまじえて楽しく教えてくださいます！

実験の内容

- ・風車で電気をつくる
- ・電気で水から水素をつくる
- ・燃料電池の組み立て
- ・燃料電池で水素から電気をつくる



日時

7月31日(水)
午後2時～3時30分

会場

町田市役所2階 市民協働おうえんルーム
(環境学習イベントのため、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

対象

市内在住・在学の
中学生・小学5、6年生

定員

30名(申し込み順)
(付き添われる保護者の方は、人数に含めません)

持ち物

筆記用具、水筒、(帽子、タオル)

費用

無料



このイベントは、次世代を担う人材育成の一環として、地球温暖化防止につながる
未来のエネルギーを知ってもらうことをねらいとして実施します。

★ 申込方法① イベントシステム ★

190717B

イベシスコード

※町田市ホームページより、トップページ右下のイベント申込システム「イベシス」からできます。

7/15(月)正午から

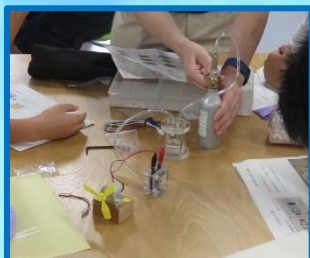
または

★ 申込方法② イベントダイヤル ★

042-724-5656

7/17(水)正午から

※定員に達し次第、募集は終了となります。



↑ 環境学習のイメージ ↑

先生の紹介

おおた けんいちろう
太田 健一郎 先生

横浜国立大学工学研究院グリーン水素研究センター センター長 名誉教授

～経歴～

- 1968年 3月 東京大学工学部工業化学科卒
- 1973年 3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(工学博士)
- 1973年 10月 東京大学工学部助手
- 1979年 4月 横浜国立大学工学部助教授
- 1995年 4月 横浜国立大学工学部教授
- 2001年 4月 横浜国立大学大学院工学研究院教授
- 2011年 4月 横浜国立大学名誉教授

～研究～

大学院生であった1970年ころより、自然エネルギー(再生可能エネルギー)、水素エネルギー、燃料電池の研究に取り組んでいます。

～主な著書～

水素エネルギー協会編「トコトンやさしい水素の本」編集委員長、2008年、日刊工業新聞社
太田健一郎、石原顕光「再生可能エネルギーと大規模電力貯蔵」2012年、日刊工業新聞社
電気化学会編「電気化学便覧第六版」編集委員長、2013(丸善)
Encyclopedia of Applied Electrochemistry, Vol.1, Vol.2 Vol.3, Chief Editor, 2014年、Springer

～参加者へのメッセージ～

空気中の二酸化炭素濃度の増大により地球温暖化が加速的に進んでいます。これを抑えるためには自然エネルギー(再生可能エネルギー)の利用拡大が必須です。この自然エネルギーは時間的な変動が大きく、地域的な偏りもあります。この問題を解消してくれるのが水素エネルギーであり、この水素エネルギーをもっとも上手に活用できるのが燃料電池です。この水素を使った燃料電池の基礎を講義と実験で学びませんか。きっと皆さんが大きくなった時に役立つと思います。



お問い合わせ：環境資源部環境・自然共生課 ☎042-724-4391